

東北植物学会第13回大会(岩手大会)

公開シンポジウム

「岩手で農学研究を支える若手研究者」

令和 5年 12月9日(土) 15:00~16:30 参加無料
(14:45 開場予定)

岩手大学教育学部1号館 北桐ホール



岩手は農業研究が盛んで、盛岡高等農林学校を起源に持つ岩手大学農学部だけでなく、東北農業研究センターや岩手生物工学研究センターがあり、様々な視点より農業発展につながる研究が行われています。本シンポジウムでは、その中で活躍されている若手研究者の方々に最新の知見についてにご講演いただき、議論します。

■ プログラム

イネ抵抗性遺伝子の機能と進化の解明

清水 元樹 (岩手生物工学研究センター)



持続的な東北稲作を目指して：栽培と気象からのアプローチ

舩谷 悠祐 (東北農業研究センター)



果樹に感染するウイルスの病原性に関する研究

八重 椋元 (岩手大学農学部)



要事前申込

QRコードまたは下記URLより
12月4日までにお申し込み下さい

<https://forms.gle/q8D1Dy9CSRcPMr7h9>



東北植物学会第13回大会参加者、岩手大学関係者
(教職員、学生)は事前申込の必要はありません。

お問い合わせ先：東北植物学会第13回大会準備委員会

TEL：019-621-6200 (河村幸男)、

E-mail：tbs2023iwate@gmail.com